



清水海上保安部
 (問合せ先)
 交通課長 深浦 勝弘
 電 話 : 0 5 4 - 3 5 5 - 0 2 2 5
 F A X : 0 5 4 - 3 5 5 - 0 2 2 6

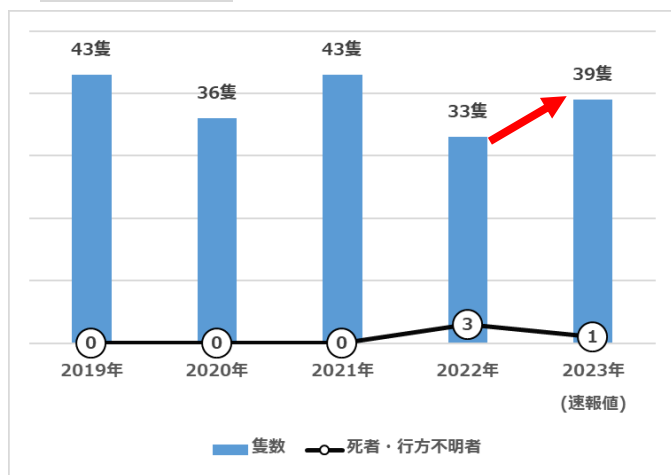
広 報

2023 年「海の事故」の発生状況《速報値》

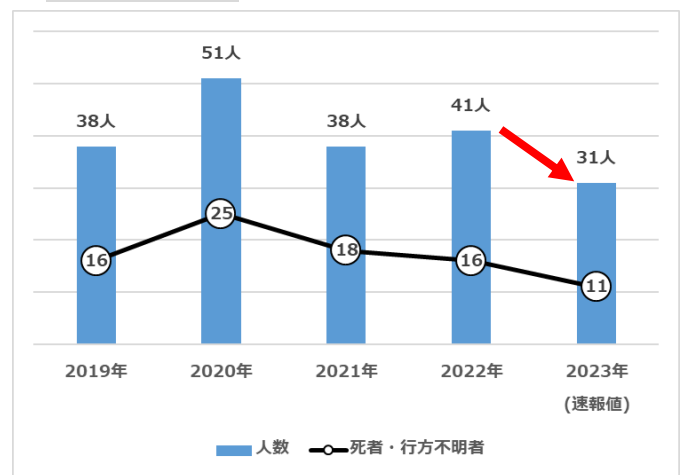
清水海上保安部管内（御前崎海上保安署を含む。沼津市から湖西市にかけての海域）において発生した「海の事故」の発生状況は次のとおりでした。

- **船舶海難は 39 隻（前年比 6 隻増加）**
 衝突海難が急増し、16 隻（前年比 8 隻増）
- **人身海難は 31 人（前年比 10 人減少）**
 このうち、死者・行方不明者数は 11 人（前年比 5 人減）

船舶海難



人身海難



船舶海難について

- 船舶の種類別では、最多はプレジャーボート 24 隻（前年比 7 隻増）、漁船 6 隻（同増減なし）、貨物船 4 隻（同 1 隻減）の順
- 海難の種類別では、衝突 16 隻（同 8 隻増）、運航不能 15 隻（同 1 隻増）、浸水 3 隻（同 1 隻増）の順
- 行方不明者は 1 人であり、船体行方不明のプレジャーボートで発生（同 2 人減）

人身海難について

- 人身海難 31 人のうち、マリンレジャーに伴う海浜事故 16 人（前年比 4 人増）。このうち、

死者・行方不明者 4 人（同 3 人増）

- マリンレジャーに伴う海浜事故は、活動内容では、釣り中 6 人、スクーバダイビング中 3 人 遊泳中 3 人、サーフィン中 2 人、トーイング遊具中 1 人の順
- 死者・行方不明者は、釣り中 3 人、遊泳中 1 人（フリーダイビング）で発生

今後の取り組みについて

清水地区海の安全運動推進連絡会議のメンバーなどと連携・協調し、次の事項に取り組みます。

1 船舶海難は、

衝突が急増し、その原因の大半が見張り不十分によるものでした。航行中はもちろんのこと、漂流中であっても見張りをする必要があります。

また、海難の多くを占める運航不能は、多くが機関などの故障や点検不足によるもので、日頃のメンテナンスや発航前検査により防止できるものです。

これら船舶海難の防止のため、

「自船の安全確保 3 か条」

- ① 発航前検査の実施（機関や燃料の点検、気象情報の把握など）
- ② 航行時、常時見張りの徹底
- ③ 故障時に備え、救助支援者の確保

及び、業者による定期的なメンテナンスの実施を呼びかけます。

2 マリンレジャーに伴う海浜事故は、

釣り中の海中転落が増加し、死亡事故が発生しました。

自治体、関係団体などと連携し、事故の防止を図るとともに、以下の事項について呼びかけます。

- ① 無理をしない
- ② 単独行動をしない
- ③ 立入禁止区域に入らない
- ④ 釣行計画を第三者に伝える
- ⑤ 一発大波に注意！千にひとつは倍の波

3 救命率の向上のために、

緊急電話 118 番通報により発生場所が明確な救助要請となり、早期に救助され、溺水や低体温症の症状がなく病院搬送されない事例もありました。

「自己救命策 3 つの基本」

- ① ライフジャケットの常時着用
- ② 連絡手段の確保（防水パックに入れた G P S 機能付き携帯電話、複数人行動）
- ③ 緊急時における 118 番通報

を引き続き呼びかけます。

■海の安全情報

海上保安庁では Web サイト上で、事故防止の注意事項や、気象海象の現況等の提供を行っております。「海の安全情報」で検索し、最新の情報をご確認下さい。



海の安全情報はこちら

■ウォーターセーフティガイド

カヌー、SUP（スタンドアップパドル）、ミニボート、水上オートバイや釣りなどのウォーターアクティビティについて、誰もが安全に安心して楽しむために知ってほしい情報をまとめた総合安全情報サイト「ウォーターセーフティガイド」が海上保安庁HPに開設されました。是非ご覧下さい。



ウォーターセーフティガイド
はこちら

■海しる

「海洋状況表示システム」（海しる）は、“海の今を知るために”さまざまな海洋情報を集約し、地図上で重ね合わせ表示できる情報サービスです。日本の周辺海域のみならず、衛星情報を含む広域の情報を掲載するとともに、気象・海象のようなリアルタイムの情報も掲載しています。



海しるはこちら